

■ センターについて

研究基盤統括センターは、琉球大学の研究基盤に関わる業務を全学的な観点から一元的かつ戦略的に実施・推進することで、本学の教育・研究力の向上や、共用機器等の学内外の利活用促進等を通じた地域に根ざした大学づくりに貢献することをミッションとしています。

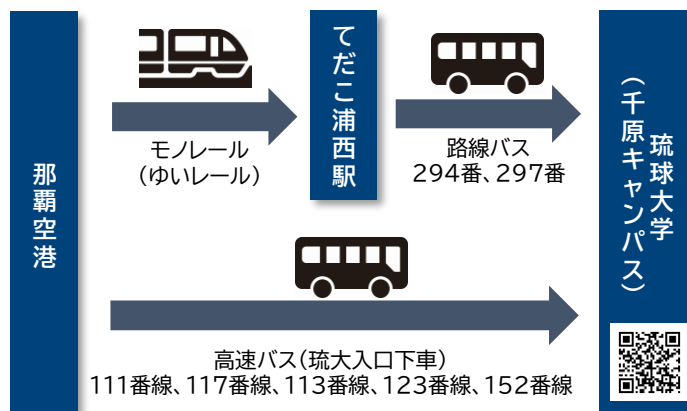
また令和4年度に改組し、新たに研究基盤マネジメント部門、研究機器・技術支援部門、環境安全管理部門の3つの部門から構成される体制となりました。

各部門は、全学的な研究基盤のマネジメントや研究機器・設備等の運用管理、教育研究に必要な各種研究技術・リソースの提供支援、環境安全の運用管理を行うと共に、研究基盤に関わる各種システム及び施設を管理運用しています。

さらに沖縄県内並びに全国の関係機関等との連携協力による開かれた研究環境の構築を目指します。



■ アクセス



■ 施設マップ

■ 事務室・機器分析施設 (理系複合棟 3F)



■ 極低温施設



■ RI施設



■ 環境安全施設



■ 共用実験室 (亜熱帯島嶼科学拠点研究棟2F)



■ お問い合わせ

琉球大学研究基盤統括センター

〒903-0213

沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

TEL: 098-895-8967(代表)

E-mail: rfc@w3.u-ryukyu.ac.jp



琉球大学

研究基盤統括センター

Research Facility Center

研究基盤マネジメント部門 Management Division



全学的かつ戦略的な研究基盤体制の構築、並びに整備運用を通じて、大学の研究教育環境及び能力の向上に取り組んでいます。

【主な業務】

1. 研究基盤に関わる企画立案、及び戦略策定。
2. 研究基盤に関する情報の収集、データの収集及び分析調査研究。
3. 研究基盤統括システム(UR-Core)等による共用機器・設備の管理運用。
4. 研究基盤に関わる学内・学外組織との連携・推進。

研究機器・技術支援部門 Analysis Division



全学的な研究機器・設備、及び施設(機器分析施設・極低温施設・RI施設)の運用管理、並びに各種技術支援を通じて、大学の研究教育活動の推進に取り組んでいます。

【主な業務】

1. 教職員・学生が利用する各種分析機器の運用。
2. 極低温施設での液体窒素および液体ヘリウムの製造・供給。
3. 放射性同位元素(RI)を用いた実験が可能なRI施設の管理。
4. 各種講習会の開催を含む技術指導・支援。

環境安全管理部門 Safety Division



全学の化学物質や実験系廃棄物の安全で適切な管理と、環境への有害な物質の流出防止を通じて、安全な実験環境やキャンパスづくりに取り組んでいます。

【主な業務】

1. 実験系廃棄物の回収・処分。
2. 排水の水質検査。
3. 化学物質管理システム(CRIS)の運用・管理。
4. 上の業務に関する指導、助言、支援、並びに各種講習会の開催や情報発信。

センターが提供する各種サービス・主な取り組み

■ 研究教育支援

研究機器・設備の利用

学内外から各種研究機器・設備を利用できます。また依頼分析(学内外)や外部利用にも対応しています。



その他のサービス

- 研究教育を推進するための各種サービスを提供しています(学内対象)。
- ・ 大型プリンターによる大判ポスター等の印刷。
 - ・ 実験用機器・設備、展示用パネル等の貸出。

■ 地域連携

おきなわオープンファシリティネットワーク

沖縄県内で研究機器・設備を運用する各機関が、協力連携して研究能力や技術向上を図っています。



ヘリウムリサイクルネットワーク

極低温施設に設置されたヘリウム液化装置を活用し、沖縄県内の諸機関と連携したヘリウムリサイクル(ガス回収→再液化・提供)に取り組んでいます。

■ 教育普及

セミナー・講習会

学内のみならず学外からも参加可能な様々なセミナー、講習会等を行っています。



教育機関への液体窒素の提供

県内中学・高校等の教育用に液体窒素の提供、安全指導、機材貸出をしています(無料)。